

薄型テレビ向け反射防止フィルム、4番目の生産ライン増設を決定

- 機能フィルム事業の拡大を目指す -

プラズマ、液晶等の薄型テレビ市場が世界的に拡大しているが、それに伴いその視認性向上を目的とした反射防止フィルムの需要も急拡大している。

当社はプラズマテレビ向けでシェア70%と同分野の最大手であるが、現有の生産能力では拡大する需要に対応することが難しい状況になりつつあるため、4番目のライン増設を決定した。

これによりプラズマテレビ向けの反射防止フィルムでトップシェアを維持するとともに、もう一方の成長市場である液晶ディスプレイ分野に対する攻勢を本格化するものである。従来計画を前倒して、2007年度に総合機能フィルム事業として100億円/年の売上を目指す。

【概要】

1. 生産能力

- ・ 現有設備：500万㎡/年  
(2006年中に増強施策により600万㎡/年)
- ・ 新設備：400万㎡/年
- ・ 新設備稼働時点の総生産能力：1,000万㎡/年

2. 建設場所                      愛知事業所衣浦工場(愛知県)

3. 商業生産稼働時期          2006年12月

4. 投資額                        約20億円

以上